

令和8年度



7・8月号

学校だより

～学校教育目標「市沢に生き、共に輝く子」～

令和8年 6月30日

横浜市立市沢小学校

校長 白岩 敬之

電話 373-4511

FAX 381-7402

赤組優勝杯奪還！白組の連覇を阻止



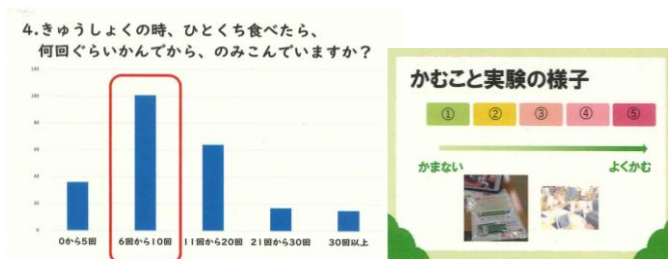
競技以外の場面でも大活躍



赤組優勝！



★学校保健委員会★ ★プール開き式★



「たべるパワーで元気 100 倍！市沢っ子」

今回は、よく噛むと色に変化していく、咀嚼チェックガムを使い、自分がどれくらい噛めているかを知り、噛むことの大切さを学びました。学んだことを活かして、これから 1 年間、各クラスで、給食をよく噛んで、おいしく食べ、残食が減るように取り組んでいきます。

校長先生より安全の鍵を受け取り、代表児童がめあてを発表しました。楽しさや水の心地よさを味わうだけでなく、「命を守る」ための授業という視点を子どもたちにもたせながら取り組んでいきます。

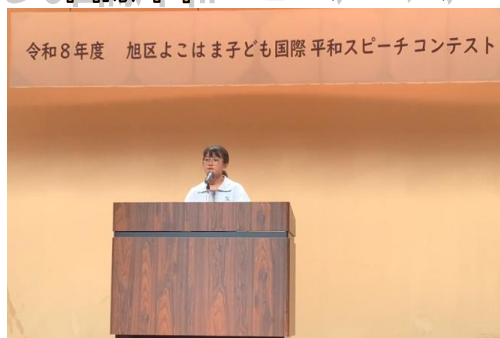
お知らせ

★交通安全教室★



6月8日（月）に交通安全教室がありました。今年度は雨天のため、旭区交通安全協会の指導員の方と一緒に、体育館でDVDを視聴しました。安全な歩行の仕方・自転車の乗り方を学びました

★子ども国際平和スピーチコンテスト★



6月24日（水）によこはま子ども国際平和スピーチコンテストがありました。6年生の田代瑞季さんが代表として参加しました。応援に市沢小児童5名が参加し、旭区全校の代表児童のスピーチを見学しました。

◆前期末評価(あゆみ)について◆

今年度より一般学級の前期のあゆみについては、観点別の評価と評定のみに変更します。学年末は観点別評価と評定に加え、文章で表記したものをお渡しします。

個別支援級は、「個別の指導計画」を基に成長の様子や状況、評価を記載したものをお渡しします。改めて9月の懇談会で評価、及び「あゆみ」についてお知らせします。

◆保護者の方へお願い◆

★お子様が遅刻や欠席する際には、「すぐーる」をご活用ください。

朝の連絡は、8：15までにお願いします。なお、遅刻、早退する場合には保護者の送迎が必要となります。

児童の安全上の配慮から守っていただきますようご協力お願い申し上げます。

学校閉庁日について

8月3日（月）～8月14日（金）

この期間は学校を閉庁いたします。学校に職員は不在となりますのでご承知ください。

閉庁中の緊急時の連絡先

西部学校教育事務所（336-3743）

平日の8：30～17：15となっています。

—育ちゆく季節の中で—

学校長 白岩 敬之

しとしとと降る梅雨の雨が土を潤し、雲の切れ間から差し込むやわらかな日差しが、その力をそっと引き出すように、校庭の草花は今、ぐんぐんと成長しています。雨と光、そのどちらも欠かせないこの時期ならではの恵みの中で、命が育っていることを感じます。



1年生が育てているアサガオ

朝、昇降口に立って子どもたちを迎えていると、こうした季節の移ろいとともに、子どもたちの変化にも気付かされます。特に、毎朝欠かさず自分の鉢や花壇に足を運ぶ1年生の姿が印象的です。元気にあいさつをした後、まっすぐ自分の育てているアサガオやフウセンカズラのもとへ向かい、「今日はどうかな」と様子を確かめる子どもたち。

はじめの頃は、天気に関係なくたっぷりと水をあげていましたが、最近では土の湿り具合に目を向け、「今日はこれくらい」と自分で考えて水の量を調節する姿が見られるようになってきました。

植物の状態をよく見て、感じ、考えて関わる——。

こうした一つ一つの行動の中に、大切な学びが詰まっています。「どうすればよいか」を自分で判断する力、毎日関わり続ける中で育まれる責任感、そして小さな変化に気付く観察する力が、確かに育っていることを感じています。

また、他の学年が育てているマリーゴールドやヒマワリも、雨と光を受けながら、日ごとにその姿を変えています。子どもたちは、色づきや背丈の伸びといった変化を喜びながら、命のつながりや尊さにも自然と触れています。

このように、植物を育てる経験は、知識だけでなく、感じる心や考える力を育てる大切な学びの場となっています。子どもたちが自分なりに関わりながら学んでいく姿は、まさに「共に輝く」姿そのものです。これから本格的な夏を迎えます。環境の変化に応じて、植物と同じように、子どもたちもまた一人一人のペースで成長していきます。その歩みをこれからも丁寧に見取り、ご家庭とも共有しながら、子どもたちの成長を支えていきたいと思います。